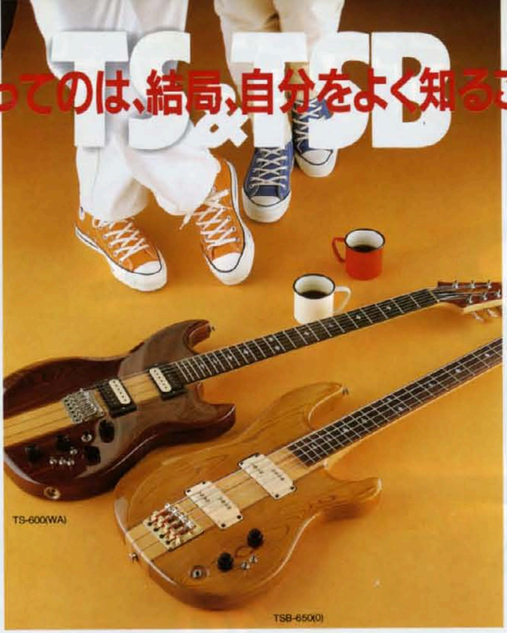
モノにこだわるってのは、結局、自分をよく知ることなんだね。

**欲張りなのは生まれつきだ。
そして、自他共に認めるところで
ある。ニギヤカなのは大好きだし、
気狂いになるのも最高に面白い。
でも、必ずノーマルに戻るので
ある。こんな調子で144回の
ギグをやったらなんて、考えた
だけでも楽しくなってくる。**



TS-600(WA)

TSB-650(O)

1 理想の振動系を求めて。トランスミットネック。

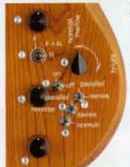
TS-600・TSBシリーズにはトランスミットネックを採用。タイトでサステインのきくサウンドをプロデュースする。また、TS-500・400は、ビルトインネックながら、トランスミットネックに劣らない特性をもつ、センターピース構造をとった。

2 144通り＋αのサウンドバリエーション TSサーキット・タイプ-I。

ボリウム、トーンを一定にしておいても何と144通りのセッティングができる。スタジオワークで便利さを実感。ライブでプリセット的使用を体感。

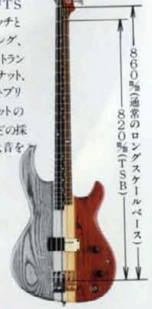
■TS-600/500コントロール

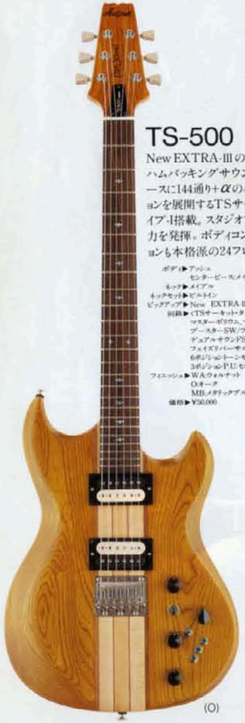
①3ポジションP.U.セレクター
②マスターボリウム
③マスタートーン
④6ポジショントーンセレクター
ローカット・ハイカット5段切替のフィルターとバイパス(ノーマル)をロータリーSWでセレクト。
⑤ブースターSW
⑥ブーストレベルコントロール
ブーストレベルをあらかじめプリセットしておきノーマルサウンドと瞬時に切換可能。
⑦デュアルサウンドSW(フロント)
⑧デュアルサウンドSW(リア)
分厚いサウンドのシリーズ(down)とアタッキーなパラレル(up)をセレクト。ノイズをキャンセルするハムバッキング・ワイアリングです。
⑨フェイズリバーサルSW
①P.U.セレクターがセンターのとき、フロントP.U.とリアP.U.の位相関係を変えます。downでノーマル(in phase:同位相) upでリバース(out of phase:逆位相)の低域がカットされた音に。



3 ミディアムスケールのパイオニア、TSB。

820㎜というオリジナルスケールを採用して、本格的ミディアムスケールベースの第1号となったのがTSBシリーズだ。軽いタッチと無理のないフィンガリング、軽量化を成し遂げて、トランスミットネックやブラスナット、オリジナルダイキャストブリッジ、アルニコマグネットのMB-IIIピックアップなどの採用で、素晴らしい重低音を可能とした。



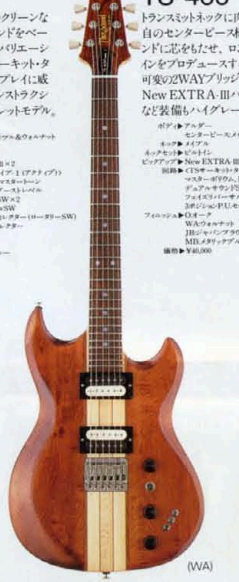


(O)

TS-500

New EXTRA-IIIのクリーンなハムバッキング・サウンドをベースに144通り＋αのバリエーションを展開するTSサーキット・タイプ-I搭載。スタジオプレイに威力を発揮。ボディコンストラクションも本格派の24フレットモデル。

ボディ▶アッシュ
センターピース:メイプル&ウォルナット
ネック▶メイプル
ネックセット▶ビルトイン
ピックアップ▶New EXTRA-III×2
回路▶〈TSサーキット・タイプ-I(アクティブ)〉
マスターボリウム、マスタートーン
ブースターSW/ブーストレベル
デュアルサウンドSW×2
フェイズリバーサルSW
6ポジショントーンセレクター(ロータリーSW)
3ポジションP.U.セレクター
フィニッシュ▶WA:ウォルナット
O:オーク
MB:メタリックブルー
価格▶¥50,000

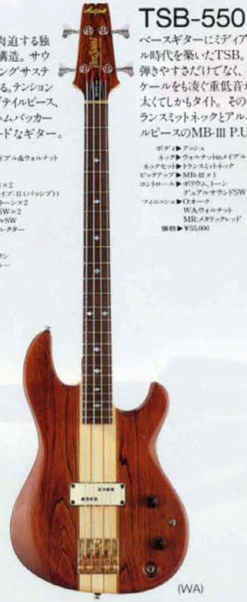


(WA)

TS-400

トランスミットネックに肉迫する独自のセンターピース構造。サウンドに芯をもたせ、ロングサステインをプロデュースする。テンション可変の2WAYブリッジテイルピース、New EXTRA-IIIハムバッカーなど装備もハイグレードなギター。

ボディ▶アルダー
センターピース:メイプル&ウォルナット
ネック▶メイプル
ネックセット▶ビルトイン
ピックアップ▶New EXTRA-III×2
回路▶〈TSサーキット・タイプ-II(パッシブ)〉
マスターボリウム、トーン×2
デュアルサウンドSW×2
フェイズリバーサルSW
3ポジションP.U.セレクター
フィニッシュ▶O:オーク
WA:ウォルナット
JB:ジャパンブラウン
MB:メタリックブルー
価格▶¥40,000



(WA)

TSB-550

ベースギターにミディアムスケール時代を築いたTSB。抜群の弾きやすさだけでなく、ロングスケールをも凌ぐ重低音が自慢。太くてしかもタイト。その秘密はトランスミットネックとアルニコポールピースのMB-III P.U.にある。

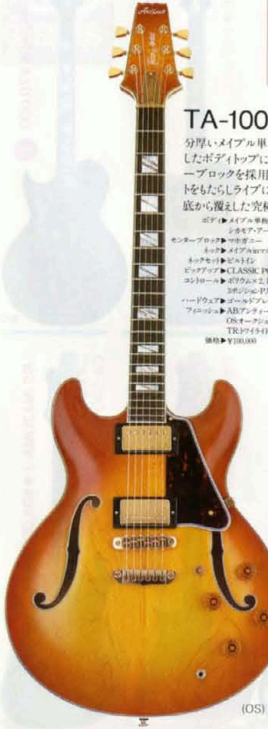
ボディ▶アッシュ
ネック▶ウォルナットinメイプル・ラミネイト
ネックセット▶トランスミットネック
ピックアップ▶MB-III×1
コントロール▶ボリウム、トーン
デュアルサウンドSW
フィニッシュ▶O:オーク
WA:ウォルナット
MR:メタリックレッド
価格▶¥55,000

TS & TSBシリーズの全ラインナップはP.16～P.17に、スペックの詳細はP.20に掲載されています。また、TS-400・TSB-650のコントロールマニュアルはP.19をご覧ください。

人を楽しませるのもいいもんだが、これは、まず、愉(たの)しむギター。

**何でも弾けるということは、
何も弾けないに等しい。
"弾く"ことこそに意味があるのに
気がつけば、答は簡単。
そうです。自分で愉しもう。
納得できるまで、とことんやろう。
そうすると、このよくできた
シンライン・アクースティックが、
ギター遍歴の終着点となった。**

TA-100(AB)

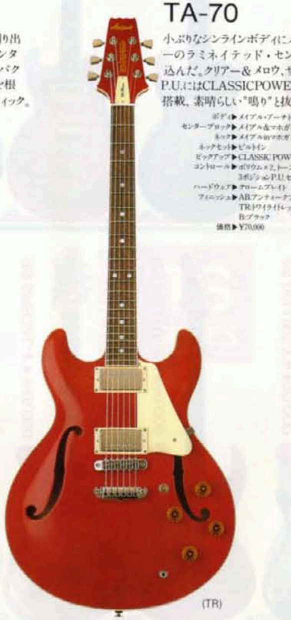


(OS)

TA-100

分厚いメイプル単板を丹念にアーチ状に削り出したボディトップにソリッドマホガニーのセンターブロックを採用。歪が少なく強力なインパクトをもたらしライブに威力。セミアコの概念を根底から覆えした究極のシンライン・アクースティック。

ボディ▶メイプル単板削り出しアーチトップ
シカモア・アーチドバック&リム
センターブロック▶マホガニー
ネック▶メイプルinマホガニー・ラミネイト
ネックセット▶ビルトイン
ピックアップ▶CLASSIC POWER(カバード)×2
コントロール▶ボリウム×2、トーン×2
3ポジションP.U.セレクター
ハードウェア▶ゴールドプレイト
フィニッシュ▶AB:アンティークブラウン
OS:オークシェイド
TR:トワイライトレッド
価格▶¥100,000



(TR)

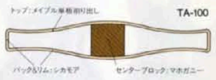
TA-70

小ぶりなシンラインボディにメイプル&マホガニーのラミネイテッド・センターブロックを埋め込んだ。クリアー&メロウ、サステインも伸びやか。P.U.にはCLASSICPOWERカバードタイプを搭載、素晴らしい"鳴り"と抜群のバランスを誇る。

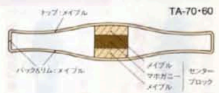
ボディ▶メイプル・アーチトップ、アーチドバック&リム
センターブロック▶メイプル&マホガニー・ラミネイト
ネック▶メイプルinマホガニー・ラミネイト
ネックセット▶ビルトイン
ピックアップ▶CLASSIC POWER(カバード)×2
コントロール▶ボリウム×2、トーン×2
3ポジションP.U.セレクター
ハードウェア▶クロームプレイト
フィニッシュ▶AB:アンティークブラウン
TR:トワイライトレッド
B:ブラック
価格▶¥70,000

1 トラディショナルな雰囲気の中に、斬新なボディ構造。

TA-100のボディトップには、メイプル単板を採用。それも熱を加えて成型するのではなく、丹念にアーチ状に削り出したものだから、歪が根本的に少なく、ヌケがいい。センターブロックのマホガニーとうまく調和して、今までにないナチュラルでパワー感のあるサウンドをつくり出す。



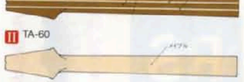
TA-70・60はラミネイテッドメイプルでボディをつくり、メイプルとマホガニーを3層にラミネイトした独自のセンターブロックを採用。クリアー&メロウの高品位なサウンドで、バランス、サステインも抜群だ。



TAシリーズのボディサイズはひと回り小柄に設計されていて、扱いやすい。構造は基本的にはセンターブロック内蔵のシンラインボディだが、モデルにより材質が異なり、それぞれのサウンドキャラクターをもっている。

2 もてるノウハウを傾注したラミネイトネック。

TA-100・70にはマホガニーにメイプルストリップをはさんだ5ピース・ラミネイトネックを採用。アクースティカルなマホガニーとパンチのあるメイプルというメリットを併わせもち、強度も十分。対してTA-60にはハイトーンやサステインを重視してメイプルネックを採用。いずれも厳密に設計されたネックアングル、スリムな形状が高度な演奏性を提供する。



3 いいボディにいいP.U.。CLASSIC POWERカバードタイプ。

大型のアルニコマグネットを使用したハムバッカーの最高峰。歪が少なくクセのない特性で、ボディの素性の良さを100%生かす。サウンドは甘く、深みのあるカバードタイプ特有のもの。
ノイズ対策も万全。ボリウムポットは金属性のシールドボックスに収納し、ハム・ノイズがシャットアウトされ、fホールからのホコリによるポットの劣化を防いでいる。

CLASSIC POWER
カバードタイプ

シールドボックス

TAシリーズの全ラインナップとコントロールマニュアルは、P.19に、スペックの詳細はP.20に掲載されています。